

宮沢経産相に 要望書手渡す

県商議所連合会など

「宮沢大臣を囲む会」が25日、山形市の山形国際ホテルで開かれ、県商工会議所連合会（清野伸昭会長）が

と県商工会連合会（小野木覚会長）、県女性経営者の会（井上弓子会長）が、来県した宮沢洋一経済産業相に中小企業対策や女性の社会進出の支援などを図るようそれぞれ要望書を手渡した。写真。

各団体のメンバーや大沼

瑞穂参院議員、県議ら約50人が出席。商工会議所連合会が経営改善普及事業を行う補助対象職員の拡充など11項目、商工会連合会は小規模企業振興基本法と小規模支援法に基づく小規模企業対策の抜本的強化など3項目、女性経営者の会は女

性が社会進出しやすい税制をはじめとする制度改正など6項目をそれぞれ柱に据えて要望した。

宮沢経産相は「役所でしっかり検討させる。日本で大事なのは中小企業が新しい事業に入ることだ。また伸びる商店街の条件を全国に示して、商店街への施策



記者席ノート

◇…自民党の大沼瑞穂参院議員の政経セミナーが25日、山形市で開かれ、大沼氏は出席者約400人を前に、「世論の反発で時に風流されたいという衝動に駆られるのが政治家だろうが、信念を持って国、県のため働いていく」と誓った。写真。

大沼氏がセミナー「信念持ち活動」

大沼氏は当選からちょうど2年。本県で初の政治資金パーティーとなった。来賓の岸宏一参院議員は「大沼さんがわれわれの派閥（岸田派）に入り、私の顔も立った。将来は間違いない。血統もいい」と述べ、同じ岸田派の宮沢洋一経済産業相は講演の前段で、「政策に強い派閥で大沼さんは頑張っている。当選から2年で厚生労働委員会の理事というのはこれから楽しみな若手だ」と語った。

大沼氏は27日に参院審議入りする安全保障関連法案に対し、「現状に対し、今、机上の空論で議論されていることに憤りさえ感じる。法制の重要性について説明責任を果たさなければいけない」と主張。「税制など線を引いた時、はざまの人が必ず生まれる。どう説明し、いかに（負担を）軽減するかが政治家の手腕だろう。きめ細やかな配慮ができるようになりたい」と抱負を述べた。

の今後の経済見通し

大臣 宮沢 洋一 氏



の今後の経済見通し